

県ことばを育てる親の会通信

65号



県親の会事務局 発行 山口市立小郡南小学校ことばの教室親の会 H18. 7. 10

会長あいさつ

引き続き「山口県ことばを育てる親の会」の会長の任をお引き受けすることになりました。

私の娘（難聴児）がことばの教室（きこえの教室）にお世話になったのは、30年以上も前のことで、本当は、いま教室にお子さんたちを通級させておられるお父さん、お母さんが親の会の中心を担われる方がよいのですが、「県親の会」は連絡協議の場ですので、各地の単位親の会の連携や情報交換がスムーズにいくように努力したいと思います。どうか、よろしくご協力ください。

”子育て”には、毎日のように、不安や悩み、迷いがつきまといます。「一人ぼっち」では、なかなか解決できない問題も、日々、生じます。そんな時、支え合い、なぐさめ励まし合い、学び合う集まりが「親の会」です。うまくいっている「親の会」では、どこでも会員同士が暖かく励まし合っています。子育てにとって、今の社会は、決してよい環境ばかりでは、ありませんが、そんな時こそ、「親の会」を頼りにし合い、励まし合って頑張りましょう。子どもたちの幸せのために。

平成18年6月22日 山口県ことばを育てる親の会

会長 加藤 碩



なお、総会后県親の会の事務局が周南市徳山小学校から県中央部に移ります。本格的な仕事の移動は2学期からです。

山口県ことばを育てる親の会事務局
パンフレットの普及・注文受付・発送
「ことば」「べる」の普及・発送

山口市立白石小学校
下松市立下松小学校
防府市立佐波小学校

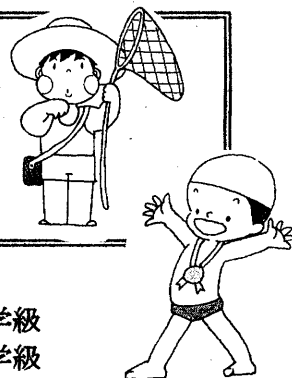


「県ことばを育てる親の会通信」編集、発行 山口市立小郡南小学校

*「県ことばを育てる親の会通信」の各学校の会員への印刷、配布はそれぞれの学校で
するようになりましたので、ご協力下さい。

平成18年度役員

会長	加藤 碩	(山口市)	
副会長	高梨 洋子	(防府市)	石井 映子 (山口市)
事務局長	針間 嘉代子	(山口市)	
事務局員	梅本 玲子	(山口市)	岡邑 佳子 (山口市)
	守田 良枝子	(周南市)	矢野 美文 (山口市)



平成18年度に新設された学級

岩国市立麻里布中学校	難聴学級	周南市立沼城小学校	難聴学級
岩国市立灘小学校	難聴学級	山口市立平川小学校	難聴学級
周南市立今宿小学校	難聴学級	長門市立深川小学校	難聴学級

今年度は6学級の新設がありました。親の会へぜひ入会され、一緒に活動しましょう。

平成18年度「山口県ことばを育てる親の会総会」開催

6月17日(土)10時より、防府市宮市福祉センターで開催されました。白石小学校長、中途失聴・難聴者協会副会長、中等度難聴児親の会会長を来賓として迎え、顧問の佐方先生、原先生、熊野先生、役員、県内15の親の会、親の会未設置校1校の担当の先生、総勢80人を超える参加者がありました。今年度の活動計画や予算の承認等議案に沿って議事が進められました。また、各親の会から活動の様子や課題について報告がありました。

午後からは吉南病院臨床心理士の安田三和子さんの「明日を信じて～私の子育て奮闘記～」と題した講演がありました。専門家の立場と母親の立場の両面から実体験をもとにしたすばらしいお話でした。参加者からの感想をたくさん頂きましたので、いくつか紹介します。

- ・ 波瀾万丈な22年間のお話を聞いて大変勇気づけられました。「障害は理解と援助で個性になる」という言葉は本人や保護者の努力と工夫があってからこそのことということが強く心に残りました。
- ・ ことばの教室の幼児担当者です。今日の講演では、子育てや子供さんの障害の特徴、どのようなことに努力、工夫されてきたのかを大変わかりやすく具体的に話して下さい、とても勉強になりました。やはり、お母さんの実体験、生の声に勝るものはありませんね。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ とても勉強になりました。思春期についての事はとても興味深く、聞きました。これからなので、参考になります。親の受け止め方がとても大切で、私も大きな気持ちで、子供を見守っていこうと思います。成功体験をさせる事が有効である事等、取り入れていきたいです。パンフも楽しみにしています。
- ・ 親の立場、専門家の立場両方でのお話が聞いて良かったです。息子さんが高校生の時に「LDを語る」という内容で講演されたという話を聞いてそういえば5年くらい前に聞いたLDの講演会聞いたのは息子さんでは…と思いだしてきました。すごく熱く語られた印象があります。最後に言われた「家族や本人の努力と工夫」というのがとても共感でき、日頃私も思っていた事なので、うれしく思いました。
- ・ 母親と専門家の両方の立場でのお話で、とても晴れた気持ちになれました。母親の立場での話だと、生々しくて重い気分になり、専門家の話は傍観者的で励みにならないことが多いのです。母である私の努力と工夫で乗り越えていこうと思います。
- ・ いつもよく聞く大学や研究者などのお話と違って、それこそ実体験を通してのお話だったので、気持ちの部分で重ねあわせるところが多く、ある意味一番ためになる講演だったと思います。これから私も何年か後振り返って子供のことがきちんと語れるような子育てをしたいと思います。
- ・ 苦しく、つらい時もあった話を明るく元気に話していただきありがとうございました。勤勉さの訓練は非常にためになりました。



☆ 新規のパンフ『明日を信じて～私の子育て奮闘記』を安田三和子先生が執筆され、平成18年10月1日に発行される予定です。



県ことばを育てる親の会通信 66号



県親の会事務局 発行 山口市立小郡南小学校ことばの教室親の会 H18. 11. 10

朝晩の冷え込みに、冬の訪れを感じる季節になりました。会員の皆様にはますます、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2学期も半ばを過ぎ、各親の会の活動を通して親睦も深まってきていることと思います。県親の会の活動にも皆様のお力をお借りする活動もあります。どうぞ、ご支援の程よろしくお願ひします。



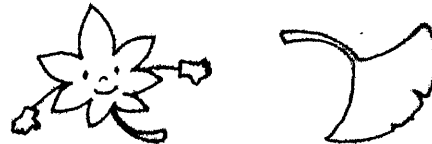
県教育委員会への要望に関する聞き取りのお礼

今年も県の役員たちで聞き取りをさせていただきました。皆さんが抱えておられる問題、悩みなどいろいろ聞かせていただきありがとうございました。この時期だけでなく各親の会と連絡を取り合っ、気軽に情報交換できるようにしていきたいと思っています。

今回共通して挙げられた事柄を紹介します。

☆中学校に通級指導教室がほしい。

☆教員の不足など



活動を続けられている親の会もありますが、なかなか一步が出にくい親の会もあるようです。まずは教室の先生に相談して学校と連携を取りましょう。そして具体的な要望を持って市教育委員会と話し合ってみて下さい。なお、11月24日県教育委員会と話し合いをします。要望を出された親の会には後日報告の連絡をさせていただきます。

『山口県聴覚障害学生の講義保障を考えるつどい』のご案内

山口県では、聴覚障害学生が大学や専門学校で学びたくても、講義保障の制度がありません。聴覚障害学生の講義保障について理解を広め、支援するサポート体制を作っていくためどうすればいいか、私たちが取り組むべき課題について意見を交わし学ぶ会を開きます。ぜひ、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

主催 山口県聴覚障害学生の講義保障研究会

- ◎日時 2006年11月23日(木) 13:00~16:00
- ◎会場 山口県教育会館 第四研修室(3階) 山口市大手町2-18
- ◎参加費 500円(資料代として) *学生無料
- ◎内容 13:00~14:30 基調講演



演題 「愛媛大学の聴覚障害学生への支援」

講師 立入 哉 氏 (愛媛大学教育学部助教授)

14:30~16:00 パネルディスカッション

パネラー (予定) 聴覚障害学生・卒業生・保護者・大学関係者等

☆参加を希望される方は、県親の会事務局まで申し込みをお願いします。

白石小学校ことばの教室 電話&FAX 083-924-7433

電話 083-924-7435



県親の会療育キャンプ・保護者研修会（山口県共同募金会より補助）

◇日時 2007年1月20日（土）午後～21日（日）午前

◇場所 山口県セミナーパーク

◇保護者研修会 シンポジウム・座談会などを予定

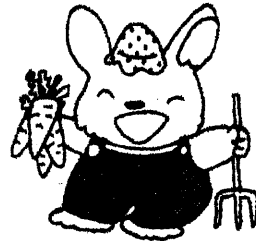
講師 田原 卓浩先生（たはらクリニック 院長）

川間 弘子先生（山口発達臨床支援センター 理事長）

安部 拓輝さん（毎日新聞社 記者）

現在ことばの教室で教育を担当している先生から一人

*子どもたちはセミナーパーク内自然ふれあいゾーンでの活動



◇宿泊と交流会（昼の部のみの参加も可）

◇参加目標 40～50名

各親の会から2～3名参加していただければ、情報交換も活発になるのではと思います。ご参加よろしくお祈りします。なお、詳しくは別紙「県親の会療育キャンプ・保護者研修会」のご案内をご覧ください。

相談受付の窓口

地域の親の会の活動や子育てでの悩みや困りごとがあれば連絡をください。長年ことばの教室を担当された先生や事務局員がご相談を受けます。

願 問	熊野 汎美	TEL 0839-23-2621	（山口市）
願 問	佐方 嘉彦	TEL 0832-46-1537	（下関市）
願 問	原 惣利	TEL 0834-31-7391	（周南市）
事務局員	梅本 玲子	E-mail reiko-u@c-able.ne.jp	（山口市）

親の会便り

下松小学校

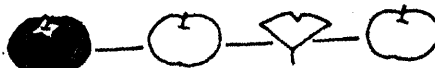
下松小学校ことばの教室親の会は、現在幼児28名、学童40名の保護者で活動しています。年間4回の学習会と2回の交流会（1回は校外でのレクリエーション）を行っています。以下今年度の活動内容を紹介します。

- 4月 役員会（役員仕事内容・行事・総会について）
- 5月 親の会総会 グループ別交流会
- 6月 県親の会理事会総会参加 グループ別学習会
- 7月 愛のバザー出品依頼
- 8月 愛のバザー出品物を社会福祉協議会に提出
- 9月 愛のバザー出品売場手伝い
- 10月 親睦レクリエーションの集い（親子で参加）
- 11月 学習会（講師の先生を迎え、講演会）
- 12月 学習会（栄養士の先生による調理実習）



柳井ウェルネスパークにおいて、ゲームをしたり、お弁当を食べたり、大型遊具で遊んだりしました。

- 1月 県親の会保護者研修会参加
- 2月 学習会全体会 役員会（1年間の反省会）



*交流会や学習会は、テーマにより幼児（たんぼぼの会）、学童（コスモスの会）と二つのグループに分けて行っています。

☆先生方にことばの教室での悩み、要望を尋ねると、「子どもの数の増加に合わせて先生を増やして欲しい。」とのことでした。このような問題をまだ話し合えていませんが、市や県に要望を出していけたらと思います。

